川俣町（かわまたまち）

1955年に1町7か村が合併して誕生しました。豊かな自然に囲まれ、花塚山からは富士山が見えます。シルク、ブランド地鶏、中南米音楽祭など川俣からではの歴史、伝統、文化や特産品に溢れ、震災後も南国の花の栽培に取り組むなど、復興の歩みも着実に進めています。

北限の花塚山から望む富士山

国内最大級の中南米音楽祭

川俣復興の象徴アンスリウム

面積	人口
127.70 km²	11,517人（2022.10.1時点）
実際の居住者数	震災前人口比
山木屋地区 332人（2022.10.1時点）	山木屋地区 26.5%

小手毬様（おてまりさま）

川俣町にはおいしいものや面白いものがたくさんあるよ！ぜひ遊びにきてね♪

川俣シャモ

高原の宇宙（そら）そば粉

2011.3.11- 双葉町などから原子力災害の避難者受け入れ（最大時約6,000人）
2011.4 山木屋地区が計画的避難区域に含まれることが公表される（11日）
山木屋の小中学校が川俣南小で再開（18日～2018年3月）
2013.5.31 近畿大の支援によりボリエステル繊維でアンスリウム実証栽培開始
2016.1.31 絹の里やまきやスケートリンク（田んぼリンク）再開
2017.3.31 山木屋地区避難指示解除（7月 山木屋地区にとんやの郷オープン）
2018.10 山木屋でアンスリウムの栽培開始（2019年 初出荷）
2020.3-11 NHKで町ゆかりの古関裕而・金子夫妻がモデルの「エール」放送

飯舘村（いいたてむら）

1956年に飯曽村と大蛇村が合併して誕生。阿武隈山系北部の高原に位置し、村の75%を山林が占め、北は真野川、中央は新田川と飯舘川、南部は比曽川の流域に集落を形成しています。全村避難を余儀なくされましたが、少しずつ住民の帰還が進んでいます。

村道生花が彩る道の駅の天井

のびのび遊べる風の子広場

越大な自然が魅せるはやま湖

面積	人口
230.13 km²	4,882人（2022.9.30時点）
実際の居住者数	震災前人口比
1,511人（2022.10.1時点）	23.2%

イイタネちゃん

飯舘村は「明日が待ち遠しくなる、わくわくするふるさと」を目指しているんダネ！

黒毛和牛煮込みハンバーグ

なつはぜジャム

2011.3.11- 村の一部が30km圏内の屋内退避区域に指定される（15日）
511名が栃木県鹿沼市へ集団避難（19日）
2011.4.11 計画的避難区域となり全村避難へ（6月 福島市へ役場機能移転）
2011.4.21 川俣町内の校舎を借り、小中学校再開（2012年 仮設校舎へ）
2017.3.31 長泥地区を除き避難指示解除（8月 道の駅まごい館オープン）
2018.4 小中学校が村内で開校（2020年4月 いいたて希望の里学園開校）
2022.5 飯舘産黒毛和牛が A5等級評価獲得。飯舘ブランド復活への一歩に
2023.5 長泥地区特定復興再生拠点区域の避難指示解除予定

南相馬市（みなみそうまし）

2006年小高町、鹿島町、原町市が合併して誕生。千年以上の歴史を持つ国指定重要無形民俗文化財「相馬野馬追」やサーフィンの名所「北泉海岸」で知られています。2016年に一部の山間部を除いて避難指示が解除され、復興に向け歩んでいます。

千年の歴史を継ぐ相馬野馬追

サーフィンも人気の北泉海岸

ロボットの一大開発実証拠点

面積	人口
398.58 km²	57,722人（2022.10.31時点）
実際の居住者数	震災前人口比
小高区 3,833人（2022.10.31時点）	小高区 29.9%

のまたん

南相馬市は馬と人の距離が近いまち。野馬追の季節には馬が公道を歩く姿が見られます

小高一味　寿司はね

2011.3.11- 甚大な津波被災が発生。20km圏外へ集団避難開始（12日）
市内へ物資が入って来ず、全市民に対し市外へ避難誘導（16日～）
2011.4.22 20km圏内の小高区全域と原町区の一部が警戒区域に設定される。
鹿島区の学校などで全小中学校再開（10月～原町区内で順次再開）
2011.7.23-25 相馬三社野馬追開催（2012年から通常開催に）
2015.4.25 常磐自動車道に南相馬鹿島SA「セブッテかしま」開所
2016.7.12 帰還困難区域を除き避難指示解除（2017年～小高区内学校再開）
2019.7.20 北泉海水浴場で震災後初めての海開き・サーフィン大会開催

浪江町（なみえまち）

浪江町は、豊かな自然に囲まれ、大堀相馬焼やなみえ焼そばで知られています。2017年の一部地域の避難指示解除後、道の駅なみえのオープン、請戸漁港の再開、水素利活用の取組が注目を集めて町に活気と賑わいが戻りつつあり、着実に復興を進めています。

もっちり極太麺なみえ焼そば

鮮度抜群美味！請戸もの復活

津波の脅威を伝える請戸小

面積	人口
223.14 km²	15,702人（2022.9.30時点）
実際の居住者数	震災前人口比
1,917人（2022.9.30時点）	8.9%

うりどん

うまいもんが増えたよ！お花もキレイ♪ワクワクいっぱいの浪江町さ遊びにおいでね～！

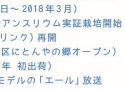
大堀相馬焼

2011.3.11- 津波・地震被災により設置した避難所から10km圏外の津島地区へ（12日）
→二本松市に災害対策本部・避難所15ヶ所開設（15日）
2011.5.31 二本松市内の旧校舎（下川崎小・針道小）で小中学校開校
2017.3.31 帰還困難地域を除く避難指示解除（2月 請戸漁港に漁船帰港）
2018.4 町内にて、なみえ創生小・中学校開校、浪江にいるこども園開園
2021.3.20 道の駅 houseスクランドオープン、鈴木酒造「浪江蔵」で酒造り開始
2021.10.24 震災後構浪江町立請戸小学校が開館
2023 春 特定復興再生拠点区域（室原、末森、津島）の避難指示解除予定

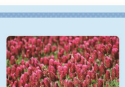
葛尾村（かつらおむら）

標高約400mの高原に位置する葛尾村。北西部には江戸時代に榮華を極めた松本一族の邸宅跡があり、当時の石垣や地図など往時を偲ばせます。震災後の全村避難を経て、胡蝶蘭栽培や羊肉、アーティスト移住定住事業など、新たな取り組みに挑戦しています。

紅花誌草は牧草を育てる緑肥



疾走！ツール・ド・かつらお


癒しの大自然もりもりランド

面積	人口
84.37 km²	1,314人（2022.10.1時点）
実際の居住者数	震災前人口比
467人（2022.10.1時点）	29.8%

しみちゃん

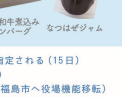
村にかかわる全ての人が家族しみ～♪人のつながりがあたたかい葛尾に来てしみ～！

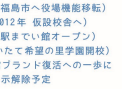
ホープホワイト　凍みもち

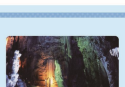
2011.3.14 全村民に避難勧告、612人が福島市のあづま総合運動公園体育館へ
2011.3.15 会津坂下町の公民館などへ（4月 会津坂下・柳津の旅館へ移動）
2011.6.26 三春町の応急仮設住宅へ入居開始（7月 役場機能も三春町へ）
2016.6.12 居住制限区域・避難指示解除準備区域の避難指示解除
2017.6.11 ツール・ド・かつらお初開催（2018年から年2回開催へ）
2018.4.6 葛尾小・中学校が村内で再開（2013年から5年間は三春町で開校）
2021.3 日本テレビ「サザ！鉄腕！DASH!!」葛尾村TOKIOの田んぼで稲作開始
2022.6.12 野行地区が特定復興再生拠点区域で初となる避難指示解除に

田村市（たむらし）

2005年に滝根町、大越町、都路村、常葉町、船引町の5町村が合併して誕生。阿武隈山系の中央に位置し、鐘乳洞探検や豊かな自然と暮らす心温まるまちです。避難対象となった都路町などでも農畜産業の復興が進み、新たな特産品が生まれています。


悠久の時を刻む鐘乳洞を探検


映画「はつ恋」の"舞い桜"


見事な渓谷美の行司ヶ滝

面積	人口
458.33 km²	33,809人（2022.9.1時点）
実際の居住者数	震災前人口比
都路町 1,883人（2022.8.31時点）	都路町 62.7%

カブトン

田村市は豊かな自然と文化と美味しい食べ物に恵まれてるカブー

ゆいプリンリッチ

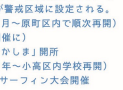
HOPJAPAN

2011.3.11- 避難者を受け入れていたところ、20km圏内が国の避難指示を受け、市の判断で都路町全住民へ避難指示。船引町内の公共施設へ避難（12日）
30km圏内（常葉・船引の一部）へ屋内退避→自主避難ぴかいち（25日）
2011.9.30 常葉町・船引町の30km圏内と都路町の20km圏外の避難指示解除
2014.4.1 都路町20km圏内解除で市内全域が解除に。都路町の小中学校再開
2014.4.6 仮設商業施設「Ｄｏｍｏ（どーも）」古道店・岩井沢店オープン
2019.3.17 大越町に磐越自動車道「田村スマートIC」開通
2020.9 グリーンパーク都路内でホップジャパンがクラフトビール醸造開始

大熊町（おおくままち）

大熊町は1954年に大野村と熊町村が合併して誕生し、震災前は梨やキウイ、鮭が特産でした。震災後は全町避難が続きましたが、2019年4月に一部避難指示が解除され、2021年には商業施設・宿泊温浴施設もオープン。町内の生活環境整備が進んでいます。

伝統芸能　熊川権兄直舞


四季折々風光明媚な坂下ダム

町の新拠点、交流ゾーン

面積	人口
78.71 km²	10,002人（2023.1.1時点）
実際の居住者数	震災前人口比
408人（2023.1.1時点）	3.6%

おおちゃん小法師

大熊町の復興は始まったばかり。新生・大熊町に来てほしいクマー！

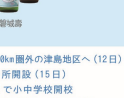
おおくまベリー（いちご）

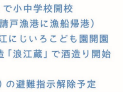
町産酒米を会津で醸す

2011.3.11- 10km圏内避難指示を受け、田村市、三春町、小野町、都山市など へ分散避難（12-13日）田村市総合体育館に町災害対策本部を設置（12日）
2011.4 会津地方へ二次避難（3-4日）町役場会津若松出張所を開設（5日）
会津若松市河東町で小中学校開校（16日）
2019.4.10 大川原・中屋敷地区の避難指示解除（5月 大川原新庁舎で町役場再開）
2021.10.17 大熊町交流ゾーン（商業・交流・宿泊温浴施設）グランドオープン
2022.6.30 特定復興再生拠点区域の避難指示解除（駅周辺、下野上など約8.6km²）
2023.4 義務教育学校「学び舎ゆめの森」が会津若松市から町内へ

双葉町（ふたばまち）

新山町と長塚村が合併した標葉町が1956年に改称して双葉町が誕生。海と山に抱かれた豊かな自然を誇ります。2022年8月の避難指示解除によりようやく町での居住が可能となりました。駅前に役場新庁舎もオープンし、復興の加速化を進めています。


2023年から町内でだるま市再開


えきにし住宅の入居開始

町の伝統、標葉せんだん太鼓

面積	人口
51.42 km²	5,536人（2022.12.31時点）
実際の居住者数	震災前人口比
60人（2023.1時点）	0.84%

フタバくん

七転び八起きの精神で復興を進める双葉町。これからの双葉町に注目してくださいね！

双葉ダルマ　ダキメテタバ（タオル）

2011.3.11- 10km圏内避難指示を受け川俣町へ集団避難（12日）→さいたまスーパーアリーナへ（19日）→埼玉県加須市旧騎西高校に避難、役場機能も移転（30日）猪苗代町リステル猪苗代へも避難（30日）
2013.6.17 役場機能をいわき市に移転（2014年～ いわき市で小中学校開校）
2020.3 避難指示解除準備区域・双葉駅周辺・アクセス道路の避難指示解除、特定復興再生拠点の立入制限緩和（4日）常磐双葉IC開通（7日）
2020.10.1 双葉町産業交流センターオープン（8月～ 壁画アート始まる）
2022.8.30 特定復興再生拠点区域の避難指示解除（10月 えきにし住宅入居開始）

川内村（かわうちむら）

1889年に上川内村と下川内村が合併し誕生。木戸川・富岡川・熊川の源流を持ち、清らかな水あふれる村です。村の西側には阿武隈高地最高峰の大滝根山が聳えます。震災後、いち早く帰村し、ワイン事業など新たな産業を呼び込み復興を加速させてきました。

峯野心平が過ごした天山文庫

イワナを釣って楽しい

モリアオガエル繁殖地平伏沼

面積	人口
197.35 km²	2,382人（2022.9.1時点）
実際の居住者数	震災前人口比
1,970人（2022.9.1時点）	64.8%

もりたろう

緑豊かな川内村！きれいな渓流にはいわなが泳ぎゆっくりとした時間を過ごせるよ～

ワイン

そば

2011.3.11- 村全域が30km圏内の屋内退避区域に（14日）全村避難を決定し、都山市のビッグパレットふくしまへ避難（16日）
2011.4 小中学校が都山市内（河内小・逢瀬中）で授業開始（13・14日）
2011.12.14 上川内水稲作付実験圃2400㎡の玄米で放射性物質が検出限界以下
2012.1.31 帰村宣言（3月 川内村で役場再開、4月 小中学校が村内で再開）
2014.10.1 避難指示解除準備区域解除、居住制限区域が避難指示解除準備区域に
2016.4.30 第1回 川内の郷かえるマラソン開催
2016.6.14 避難指示解除準備区域が解除され、村全域の避難指示が解除に

富岡町（とみおかまち）

全長2.2kmに及ぶ夜の森の桜並木を町のシンボルとする富岡町は、浜通りの中央に位置し、四季を通して過ごしやすい町です。2017年に帰還困難区域を除く避難指示が解除され、商業施設や小中学校、漁港が再開し、復興に向けた歩みを着実に進めています。

夜の森の桜のトンネル再開

ふどう畑と富岡漁港と太平洋

南国の味パッションフルーツ

面積	人口
68.39 km²	11,824人（2022.10.1時点）
実際の居住者数	震災前人口比
2,063人（2022.10.1時点）	13%

とみっぴー

夜の森の桜の道を全部歩けるようになったっぴ桜の木で待ってるっぴ

富岡魂

富岡いも餅（べえ）

2011.3.11- 10km圏内避難指示を受け、川内村へ全町民の避難を決定し、川内村と合同対策本部設置（12日）埼玉県杉戸町からのバスで川内村住民とともに都山市のビッグパレットふくしまなどへ避難（16日～）
2011.4.14 ビッグパレットに役場出張所開設（9月 小中学校三春校開校）
2017.4.1 帰還困難区域を除き避難指示解除（2018年 町内で小中学校再開）
2019.7.26 8年ぶりに富岡漁港が再開し、福島県内18か所の漁港すべて開港
2020.3.10 夜ノ森駅周辺の避難指示先行解除、夜の森の桜の一部通行可能に
2022.1.26 特定復興再生拠点区域の立入制限緩和（2023年春 避難指示解除予定）

楢葉町（ならはまち）

1956年に木戸村と竜田村が合併して誕生。町内には井出川と鮭や鮎釣りで知られる木戸川が流れています。町の全域が避難指示区域になりましたが、2015年には全て解除され、現在、町は新しいチャレンジに溢れるまちづくりをめざしています。

懐かし母の味マミーすいとん

温泉とキャンプ楽しむ天神岬

「さつまいも産地」楢葉へ

面積	人口
103.64 km²	6,649人（2022.9.30時点）
実際の居住者数	震災前人口比
4,265人（2022.9.30時点）	53.2%

ゆず太郎

新しいチャレンジが次々に生まれる町へ！ぼくはYoutuberをめざして町の見どころを発信中！

さけのよ

2011.3.11- いわき市への全町避難を指示、小中9校の避難所へ（12日）
姉妹都市会津美里町へ集団避難（16日～）災対本部を本郷庁舎へ（25日）
2012.4.6 小中学校がいわき市内の仮校舎で再開（1月～ 災対本部いわき市に）
2012.8.10 警戒区域が避難指示解除準備区域に再編、町内全域の出入り自由に
2013.5.10 ブイチェーンネモト本店が営業再開（旧警戒区域内のスーパー初）
2014.5.26 水稲実証栽培を開始（11月 全袋検査で全て基準値を下回る）
2015.9.5 町全域の避難指示解除（2017年 南・北小、中学校が町内で再開）
2018.6.26 ここなら笑店街オープン（7月 ならはCANvasオープン）

広野町（ひろのまち）

6ヶ村が合併した広野村が1940年に広野町となって誕生。中心部にみかんの丘、山間部に童謡「とんぼのめがね」の銅の情景となった箒平地区があります。2012年3月町長発令の避難指示解除後は駅東側地区や中高一貫校が整備され、各種イベントも再開しています。

みかんの花咲く実りの丘

大迫力のサマーフェスティバル

とんぼのめがねの情景、箒平

面積	人口
58.69 km²	4,679人（2022.9.30時点）
実際の居住者数	震災前人口比
4,224人（2022.12時点）	76.9%

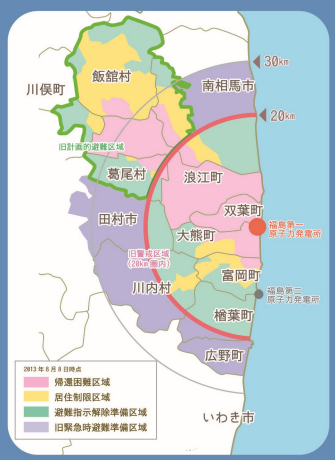
ひろぽー

教育の丘に子育て・教育環境が集う広野町は安心して子育てができるまち

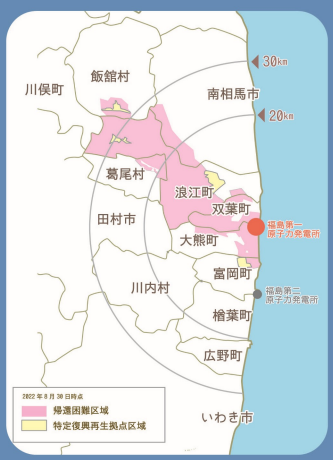
バナナ「綺麗」　みかん果汁100%ジュース

2011.3.11- 自主避難呼びかけ（12日）全町民へ避難指示（13日）広野町・埼玉県三郷市などに町避難所を指定。小野町に役場機能移転（15日）
2011.4.15 役場機能をいわき市へ（22日 町全域が緊急時避難準備区域に）
2011.8.25 中央台南小で広野小再開（10月1日 湯本二中で広野中再開）
2012.3 役場機能が本来の庁舎へ（1日）町長発令の避難指示解除（31日）
2012.8.27 広野小・中学校、幼稚園、保育所が町内で再開
2012.10.14 2年ぶりに「ひろの童謡まつり」開催
2016.3.5 公設商業施設「ひろのてらす」オープン

12市町村、3.11からの歩み 2011.3.11-2023年春



2011年 3月11日	14:46	マグニチュード9.0の大地震発生。地震・津波の甚大な被害
	15:42	東電が国に福島第一原子力発電所(以下「福一」)について原子力災害対策特別措置法第10条(全交流電源喪失)通報
	19:03	福一について「原子力緊急事態宣言」発令
	21:23	福一から半径3km圏内住民へ避難指示、半径10km圏内住民へ屋内退避指示
3月12日	05:44	避難指示範囲を福一から半径10km圏内へ拡大
	07:45	福島第二原発から半径3km圏内の住民へ避難指示、半径10キロ圏内の住民へ屋内退避を指示
	15:36	福一第1号機で水素爆発
	17:39	福島第二原発から10km圏内に避難指示
	18:25	福一から半径20km圏内の住民に避難指示
3月14日	11:01	福一第3号機で水素爆発
3月15日	06:14	福一第4号機で水素爆発
	07:15	福島第二原発の原子炉が全て冷温停止に
	11:00	福一から半径20～30km圏内の住民に屋内退避を指示
4月22日	警戒区域、計画的避難区域、緊急時避難準備区域を指定	
9月30日	緊急時避難準備区域の避難指示解除(計画的避難区域を除く南相馬市、田村市・川内村・楢葉町の20キロ圏外、広野町全域)	
2012年 4月1日	警戒区域・計画的避難区域を「帰還困難区域・居住制限区域・避難指示解除準備区域」へ再編(双葉郡全域)	
2013年 1月26日	国道6号に桜の植樹開始(ふくしま浜街道・桜プロジェクト)	
2014年 2月22日	常磐自動車道、広野-富岡間再開通(12月 浪江-南相馬間再開通)	
4月1日	20km圏内で初めて田村市都路町の避難指示が解除される～居住制限区域、避難指示解除準備区域の避難指示解除が徐々に進む～	
6月1日	JR常磐線、広野-竜田間運転再開(20km圏内の避難区域内で初)	
9月15日	国道6号、自動車の富岡-双葉間の通行規制解除。全線通行可能に	
2015年 3月1日	常磐自動車道、常磐富岡IC-浪江IC間が開通し、全線開通	
4月	県立ふたば未来学園開校(サテライト校を設けていた双葉高、富岡高、双葉翔陽高、浪江高、浪江高津島校は2017年3月で休校)	
2017年 4月1日	JR常磐線、浪江-小高間運転再開(10月1日 竜田-富岡間再開)	
2019年 4月20日	原発事故対応拠点となったJヴィレッジが全面再開・「Jヴィレッジ駅」開業	
2020年 3月4日	帰還困難区域内特定復興再生拠点区域の立入制限緩和開始(双葉町から)	
3月14日	JR常磐線、富岡-浪江間運転再開により全線再開通(再開通に伴い双葉・大野・夜ノ森駅周辺が先行解除され、立ち入りが自由に)	
3月31日	福島ロボットテストフィールド全面開所(南相馬市・浪江町)	
9月20日	東日本大震災・原子力災害伝承館オープン、復興祈念公園一部開園	
2022年 6月12日	特定復興再生拠点区域の避難指示解除が始まる(葛尾村から順次)	
2023年 春	県道391号広野小高線(浜街道)にサイクリングルート開設予定	



12市町村 お役立ち情報リンク

https://satellite.net.fukushima-u.ac.jp/g8/information

道路情報、放射線情報、医療機関情報、地図など役立つ情報に繋がります。

「ぐるぐるMAP」は双葉郡8町村の役場職員らが集う「ふたばの明日を考える会」の、双葉郡の"今"を知る地図を作りたい！というアイデアから2016年に生まれました。当時は双葉郡を訪れ、働き、暮らすために最低限必要なガソリンスタンド・コンビニなどの施設が少なく、ネット上には震災前の情報が混在。正確な情報が掲載されているぐるぐるMAPは貴重な情報源となりました。

2022年発行の第7版からは双葉郡8町村と同じく長期間住民の避難を余儀なくされた川俣町、飯舘村、南相馬市、田村市の情報を加え、12市町村を掲載する広域マップになりました。震災から12年、たくさんの人々の力で進んできた復興の歩みと地域の魅力を伝えています。ぐるぐるMAPを手に、12市町村をぐるぐると訪れてください。

福島大学地域未来デザインセンター
相双地域支援サテライトについて

相双地域支援サテライトは、東日本大震災・原子力発電所事故からの復興を支援する福島大学の現地拠点として2012年6月に開設されました。大学と現地をつなぎ、被災地域の復興や教育環境整備の支援などの活動を行っています。